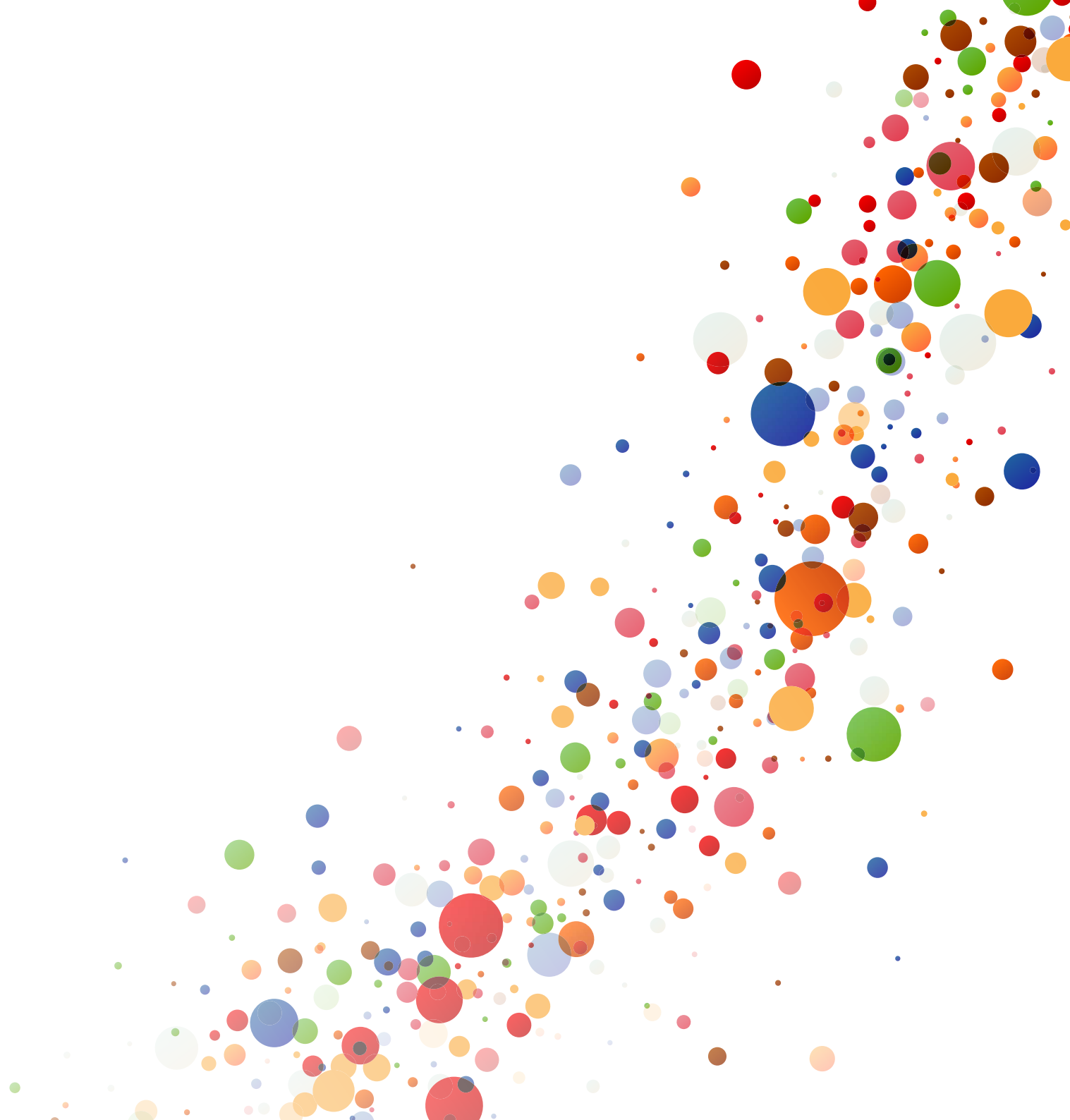


ITOHAM YONEKYU Group

Integrated Report 2026

伊藤ハム米久グループ 統合報告書

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社



Contents

メッセージ

- P.3 理念体系・目指す姿
- P.4 Top Message

伊藤ハム米久グループとは？

- P.9 現在地
- P.10 あゆみ
- P.13 強み
 - ① 異なる強みを持つ二つのブランド
 - ② 全国に高品質な商品を届ける販売・供給ネットワーク
 - ③ 海外の生産・調達・販売拠点を活かしたグローバル事業基盤

私たちが2035年に目指す姿とは？

- P.16 価値創造ストーリー
- P.17 Focus on! ① 国内バリューチェーンの価値最大化
- P.21 Focus on! ② 海外事業の成長加速
- P.24 Focus on! ③ 成長事業の展開

2035年を見据えた戦略と挑戦

- P.26 長期経営戦略2035、中期経営計画2026
- P.29 事業戦略 加工食品事業本部
- P.31 事業戦略 食肉事業本部
- P.33 人材戦略
- P.34 財務戦略

挑戦を支える基盤

- P.35 マテリアリティとKPI
- P.36 マテリアリティ・トピックス
- P.38 取締役・執行役員一覧
- P.40 社外取締役メッセージ
- P.41 コーポレート・ガバナンス

企業データ

- P.48 財務ハイライト
- P.49 非財務ハイライト
- P.50 財務情報・株式情報
- P.52 コーポレート・データ

発行にあたって

編集方針

本報告書は、これまで培ってきた当社グループの強みや、2035年に目指す姿「meat together」の実現に向けた価値創造の具体的な取り組みを説明し、すべてのステークホルダーの皆様によりいっそうの理解を深めていただくことを目的に作成しています。

対象範囲

報告対象期間：2025年度（2025年4月1日～2026年3月31日）の取り組みを報告していますが、一部では上記期間以外の取り組みについても報告しています。

報告対象組織：伊藤ハム米久グループ

※ 対象範囲が異なる場合は、個別に記載しています。

参考にしたガイドライン

- IIRC「国際統合報告フレームワーク」
- 経済産業省「価値協創ガイダンス 2.0」
- 環境省「環境報告ガイドライン 2018年版」
- 「GRI サステナビリティ・レポーティング・スタンダード」

見通しに関する注意事項

本報告書に記載した将来についての戦略、業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、不確定な要素を含んでいます。実際の業績などは、さまざまな要因により大きく異なる可能性があることをご承知おください。

伊藤ハム米久グループが目指す未来の姿

Becoming a leading food company

グループ理念

GROUP PHILOSOPHY

私たちは事業を通じて、
健やかで豊かな社会の
実現に貢献します

伊藤ハム米久
グループが
目指す企業像

行動指針

ACTION GUIDELINES

- 安全・安心と品質の追求による、
価値ある商品とサービスの提供
- 有言実行の徹底による
信頼関係の構築、強化
- 全員参加の闊達な意思疎通と
相互理解による能力開発と育成
- コンプライアンスを最優先とした、
公明正大で透明性のある行動
- 地球環境に配慮した事業活動の推進

ビジョン

VISION

フェアスピリットと
変革への挑戦を大切にし、
従業員とともに
持続的に成長する
食品リーディングカンパニー

